

with SBS

※SBSは、正文舎（SyouBunSyuaの略です）

《好評連載中》
にほんごのまめ知識
その④
Focus on JAPANESE

異体字
Kanji Variant



正文舎のアレやコレ。

「株式会社 正文舎」 **A** to **Z**

JOB～仕事は自分の人生を決める大切なもの

TOPICS ————— ネコ型年賀状

New&Goods ————— 朝礼



株式会社 正文舎のすべての情報は、WEBサイトでご確認ください。
バックナンバーもこちらから。



相談しあって、よい製品を作る。
それが結果として、
お客様のためになると思うのです。



花が好きだから、会社に花を飾る。
これも得意分野を生かして、
会社に貢献することだと思うのです。



私自身は、
文章書きが一番好きな仕事です。

仕事というと、みなさんは どんなことをイメージしますか？

- 働かないと食べていけないから、仕方がないからするもの？
- 時間が拘束されて苦痛なもの？
- 自分のしたいことの延長線上にあるもの？
- 好きなことでお金がもらえるので楽しいこと？

いろいろな考え方があると思います。

私にとっての仕事は、「自分の人生を決める大切なもの」です。自分の1日のうちの8時間くらいを使い、その時間の対価をいただき、そのお金で暮らす。自分の生活の基盤となるのが仕事だからです。

だから、仕事の中に少しでも好きなことを取り入れていきたいのです。8時間も使っているのに、全く好きなことがないなんて、ちょっと寂しい話ですから。

そして、一緒に働いているスタッフに対してもそうしてほしいなと思っています。いま、この会社の中にいて、自分がどんな仕事が一番好きなのか意識してほしい。そして、その好きなことで力を伸ばしていくことを考えてほしいと。

好きなことをしていると、やっぱり楽しくなりますよね。そして、夢中になれるし、できなかったことができるようになると、大人でもワクワクします。そうすると、人に言われなくても、自分で工夫してその力を伸ばしていきます。そして、この自主的な力が会社の業績を伸ばすポイントにもなると思うんです。

なぜなら、好きなこと、楽しいことをしていると、自然と笑顔になりますし、心は落ち着いています。笑顔でいると自然と会話ができるし、心に余裕ができます。心に余裕ができると、多少のトラブルは許容できます。そして、スタッフ同士で話をすると、お互いのことがわかってくるので、相手に対する思いやりが生まれます。お互いに好きなことや得意なことがわかると、困った時に相談しやすくなります。そうして、お互いに補い合って、社内でのスキルアップにつながっていきます。これが会社の力だと思うのです。

ある部分では、その方向に動き出したという手ごたえを感じるようになりました。それがとてもうれしいのです。

楽しいは面白おかしいという意味ではない

「好きなこと、楽しいことしようよ」と言うと、ときどき「仕事ですから、楽しくなくてもいいんです」と言われることがあります。この楽しいというのは、面白おかしいことばかりあるという意味ではありません。

好きなことをしていても、当然難しいことや嫌になることがあります。仕事の能力を磨こうと思ったら、自分ができていることだけではなく、今まで経験したことがない新しいことにもチャレンジする必要があります。当然、技術を習得するには時間がかかりますし、ちゃんと覚えるまで努力する必要があります。

好きなことをするとしても、苦労はあるのです。でも、好きなことだったらその苦労をすることも含めて、知的に楽しいのではないかと私は思います。

そして、食べていくためには、時には自分の気の進まないこともしなければいけないことがあります。特に会社では、会社の方針でやらなければならないこともあります。

「株式会社 正文舎」 **A to Z**

JOB

Text & Photo : Shirafuji Saori

仕事は自分の人生を決める大切なもの。

dʒɑˈb / dʒɔˈb [名詞] 仕事



正文舎がいつまでも
必要とされる会社であるよう努力したいな
と思います。

そんなちょっと嫌なことがあっても、好きなことや楽しいこともできているのは、心の状態をよくすることにつながります。プラスとマイナスでバランスがとれるという感じでしょうか。それが嫌なことをしぶしぶしたり、我慢し続けると、身体が心に影響が出てしまいます。もうそれ以上、何も受け付けなくなるという感覚です。

心の状態がよければ身体にもよい影響を与えますから、その意味でも仕事の中に好きなこと、楽しいことを見つけるというのは大切なことだと思います。

働くことは自分の人生を豊かにすること

長年同じ仕事をしていると、次第に自分の好きなことを考えなくなってくるものです。慣れた日々の業務では、小さなトラブルはあるにしろ、毎日があつと言ふ間に過ぎてしまいます。

そうすると、外部のことを感じとったりする感性が鈍くなってしまいます。社内は特に変化がなかったり、自分の周囲では変化がないことが良いと思ってしまいがち。

でも、天候が毎年同じでないように、時がくれば季節が変わるように、変化が何も無いことはありません。

常に何か変化があり、問題があるのが普通のことであり、その起きたことに対してうまく対処できたことが平和なのだと思います。

こうした心のあり方を作るには、何かひとつ目標を決めて、それを本気でやり切ることをしてみると良いと思っています。

やり切ろうとすると、自分を取り巻くことに敏感になりますし、いろんなことが起こったとしてもどうしたら目標が達成できるのか考える力がつくと思います。状況によってはあきらめなければならないことだったとしても、何もやらずに「できなかった」と言うより、いろんな挑戦をしたけれど「できなかった」と言う方が、心の成長につながります。また、次に何かするときの工夫ができると思います。

こういうことを習得できると、自分の人生が豊かになってくると思います。

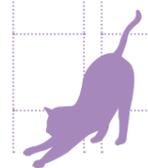
会社の中にいると、業務ひとつひとつが会社のためにやっているような、そんな感覚になってきます。でも、本当は違います。自分自身のためにやっているのです。

会社に対する想い、仕事に対する想いは人さまざまだと思います。それはそれでいい。

経営者としての私は、ひとり一人の生活の基盤であり、どの方向に進んでいくのか共有し、一緒に働くことがちょっと喜びであるような、そんな働く場所を作っていきたいと思っています。

TOPICS

ポ	ひ	写	お
ス	と	真	気
ト	味	を	に
カ	違	使	入
ー	っ	っ	り
ド	た	て	の
を		、	
。			



昨年の秋に、念願叶って猫を飼い始めました。すくすくと成長していく愛猫の姿に日々癒されています。ということで、ちょうど年末が近づいていたこともあり、猫型年賀状を作ってみることにしました。

用意するのはとっておきの1枚。 スマホの写真でOK。

写真はスマホで撮影したもので十分です。とびきり可愛い写真を1枚選びます。正直、ここが一番難しかったです。データフォルダの中には同じようなアングルから撮った同じような写真が数えきれないほどあり、まずは絞り込みに時間がかかります。また、せっかくだから最高にかわいい写真で作りたい、と思って欲がでてしまい、これもかわいい、いやこっちもかわいい、となかなか決められませんでした。困りました。

シルエットがしやすい写真を選ぶ。

そこで、選ぶときのポイントですが、可愛いのはもちろんですが、猫の頭全体がしっかり写真の中におさまっていることが重要です。シルエットがそのまま形になるので、耳が切れていたりするととてももったいないです。選んだ写真も実は耳が切れてしまっていたのですが(右)、そのまま弊社製版課のデザイナーに渡しました。



ネコ型年賀状

Text & Photo : Tokunaga Moe



▲仕上がり品
この耳、どうやって再現したのでしょうか...(笑)

型抜き用のデータはこちらで作成します。

写真さえ決まれば、あとはデザイナーにおまかせです。事前にデザインを確認させてもらおうと、なんと切れていた耳が再現されていました! そのまま印刷&型抜き加工をお願いし、完成したのがこちらです。

切手を貼って送ることができます。

切手を貼れば、通常通り郵便物として送ることができます。サイズは、おおよそ手のひらサイズです。料金は郵便局にご確認ください。

ペットに限らず、お子様や友達の顔で作成するとまた違った楽しみ方ができるかもしれません。また、お店や企業なら、扱う商材型のDMや記念行事のアイテムなど、場面によってユニークな使い方が様々できます。気になる方はぜひ一度ご相談ください。



07

正文舎 New&Goods

Text : Shirafuji Saori

朝礼

人のことを理解するには、同じ空間にいる時間を
意図的に作る事が大切です。

「一緒に空気を吸っている」

こんなイメージで同じ場所にいることそのものが近い関係であると人間は意識すると思うから、決まった曜日の決まった時間に社員全員が顔を合わせるっていいと思うのです。

会社は、チームとして同じ目的を共有して、結果を出していく場所ですからね。

スタッフが一か所に集まって顔を見て過ごす時間を作りたいと常々私は思っているのです。

それで朝礼をしようと3年前から実施していますが、今年から少しやり方を変えました。今までは役員の話と総務からの事務連絡だったのですが、10人いる管理職も交代でミニスピーチをすることにしました。

先日、管理職のミニスピーチを頼んでよかったなと思ったことがあります。

そのときの当番は印刷部門の課長。故障した印刷機の対応や、繁忙期の他部署からの応援の話をしていました。人前で話すことには慣れていないであろう彼が、話す内容をメモに書き出して準備していたことに感動しましたし、そのメモを見ながら一生懸命話

していることで言いたいことが伝わっているって感じなのです。

スピーチのテクニックを持っている人の話が伝わるということはないのです。話すことを準備して、「話の内容を伝えようという想いがあるか」の方が重要です。

弊社では、繁忙期に製本作業の手伝いを他部署に要請することが多々あります。朝礼の場でその話を聞いていても、実際には自分の業務で手が空かなく、手伝えないかもしれません。でも、手伝いが必要だということは全社で共有できるのです。

話を理解するかどうかは個人の問題ですが、同じ場にいることは何よりも大事なと思うのです。これは、役員だけがスピーチしているときには気がつかないことでした。

社長と私だと経営者という同じ視点で話しているから、従業員という視点での見方が足りなかったのです。ですので、この朝礼の時間を大事にしていこうと、改めて思ったのでした。

たぶん『うざいなあ』と思っている人もいるかもしれないのですが、私は朝礼を重要視して、自分の当番のときには元気に挨拶から始めますよ！



Photo : Himukai Atsushi

③ 異体字

我が家のキッチンの窓からは、藻岩山のゲレンデが見えます。夕方になるときらびやかな照明が点き、食器を洗いながら、その光景をぼんやりながめているのが日常だったのですが、今はナイター営業が終わり、窓の外には暗闇しかありません。冬も終わりですね。

少しずつ寒さが和らぎ、春の卒業シーズンが近づく頃、私たちは学位記・卒業証書の印刷が佳境に入ります。学生さん一人ひとりにとって、大切な一枚の紙。作成する私達も間違いのないよう気を遣います。特に人名漢字には細心の注意を払わなければなりません。

けれども人名漢字はとても難しい。その理由のひとつに異体字*の多さがあります。例えば、斎藤さんの「斎」の異体字は、31文字もあるといえます。固有名詞でなければ異体字でもさほど問題にはならないかもしれませんが、人名の漢字は異体字でもいいというわけにはいきません。

異体字と一口に言っても、略字や旧字、俗字など、その誕生の歴史はさまざまです。明治時代、国民全員に苗字をつけることが義務付けられた頃、届け出た苗字を役所の人が書き間違え、そのまま戸籍に登録されて誕生した異体字なんていうものもあります。一度登録されると簡単には変更できませんから、漢字は増えてしまいます。

校正の現場から。

私の名前に入っている「雪」の字は、戸籍上、下の「ヨ」の真ん中の横棒が長く突き抜けた旧字体（雪）です。母に理由を聞いてみると、特に意図はなく、父が出生届に間違えて記入しただけのことなのだそう。旧字体で育った世代とはいえ、「吉」の件と言い、なんて適当な父でしょうか。でも、戸籍謄本を見るたびに父が思い出されるというも、それはそれで悪くないかもしれませんね。

まとめ

にほんごの知識

04

Text : Kurita Miyuki



また、PCのデータは活字体が基本ですが、活字体は人工的に作られた書体。長い間実際に書かれてきた筆写体とは字形が異なります。例えば新元号“令和”の「令」と言う字。私たちはふだん下の部分を「マ」のように書きますね。この違いもどちらを採用するのか、迷いの生じる原因になります。

ただし、私のようにあまり気にしない人もいます。私は旧姓に「吉」の字がつくのですが、父は上の部分を「土」と書いていました。それでしばらく私もそれに倣っていたのですが、どうやら「土」が正しいということが後からわかりました。父は単に書きやすいからそう書いていただけのようですが、書類に「土」で書くと、企業などはわざわざ外字で同じ字を印字してくれたりします。なんだかどっちでもいいのに悪いことしたなあ、なんて印字された自分の名前を眺めながら思ったり…。

気にする気にしないは人それぞれでしょうが、卒業を迎える皆さんのハレの日に、誤字で水をさすのは何としても避けたいところです。

* 異体字とは、読みも意味も同じだが字形が違う字のこと。

学会WEB&印刷
まるごとPACK

実績多数の正文舎なら、

学会の申し込み や 論文原稿 を、
WEB経由で取りまとめ。

要旨集の制作・印刷 もスムーズに行えます。



《 会社概要 》

社 名：株式会社 正文舎

代 表 者：代表取締役 岸 昌洋

創 業：昭和 9年 5月 1日

設 立：昭和27年 5月15日

資 本 金：1,400万円

所 在 地：[本 社]

〒003-0802

北海道札幌市白石区菊水2条1丁目4番27号

TEL.011-811-7151

FAX.011-813-2581

[東京オフィス]

〒107-0051 東京都港区元赤坂1-1-7

オリент赤坂モートサイド805

TEL.03-5413-4016

FAX.03-5413-4017

取扱い品目

印刷事業

【 商業印刷物 】

[情 報 系] パンフレット・リーフレット・カタログ・チラシ、会社案内、ポスター、カレンダー、PR誌、取扱説明書（マニュアル）

[物流資材系] 各種封筒、包装紙、シール・ラベル

【 出版印刷 】

[書 籍] 名鑑、各種名簿、記念誌、単行本

[雑 誌] 週刊誌、月刊誌、専門誌

[新 聞] 各種業界新聞、学校新聞

[学 参 系] 教科書、辞典、問題集、生徒会誌

[自 費 出 版] 同人誌、自分誌、詩集、エッセイ、写真集

【 業務用印刷 】

伝票・帳票各種、オンデマンド／バリアブル、小ロット印刷、賞状（学位記・証書等）印刷、可変宛名印字、ダイレクトメール

情報メディア事業（WEBサクセス） <https://www.websuccess.jp/>

各種WEBサイトの企画・制作・運営管理、各種データベースの企画・構築・運営管理、クロスメディア展開の企画・構築・運営管理

賞状net事業

賞状・表彰状等のインターネット通販サイトの運営



メディア・ユニバーサル・デザイン協会認定のメディア・ユニバーサルデザイン・アドバイザーの資格を持った制作者が多く在籍しています。



紙には古紙80%再生紙のOKマットコートエコグリーンを使用しています。



グリーンプリンティングの認定を受けています。



全日本印刷工業組合連合会によるCSR認定制度の基準を達成しています。

P-00023



ISO/IEC 27001:2013 JIS Q 27001:2014 情報セキュリティマネジメントシステムの認証取得をしています。

IS 618840/ISO 27001



ぶらねっと
©syoubunsysa.inc

★ぶらねっとくんは、正文舎の業務や取組を紹介するときにどこからともなく現れるオリジナルキャラクターです。

製造から創造へ

株式会社 正文舎

札幌本社 〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目4-27
TEL.011-811-7151 / FAX.011-813-2581

東京OFFICE 〒107-0051 東京都港区元赤坂1-1-7 オリент赤坂モートサイド805
TEL.03-5413-4016 / FAX.03-5413-4017

<https://www.syoubunsysa.co.jp>

Publisher ■ Kishi Masahiro
Creative & Art Director ■ Narita Sadayuki
Chief Editor ■ Ebina Mikiko
A to Z Writer ■ Shirafuji Saori
TOPICS Writer & Editor ■ Tokunaga Moe
New & Goods Writer ■ Shirafuji Saori
Focus on JAPANESE Writer ■ Kurita Miyuki
Photographer ■ Himukai Atsushi
Editor ■ Honma Kazumi
Editor & Digital Printing ■ Watanabe Mototsugu

※本誌はデジタル印刷機 Ricoh Pro C7200sで、表紙にクリアトナーを使用し、オンデマンド印刷・製本をしています。